9/19 SAT 風と光の小径

HISAIZUアートプロジェクト主催の「風と光の小径」が、桜町の久伊豆神社で開催されました。

境内には600個の色とりどりの風車が並び、「祈りのトンネル」が幻想的な光に包まれました。会場では願い書きや縁日の他、長野ささら獅子舞保存会による奉納演舞も行われました。また、画家・絵本作家のサカぐチタカユキ氏と書家・美蓮氏によるコラボ奉納パフォーマンスも披露。完成した作品を写真に収める来場者の姿が見られ、風と光、祈り、伝統文化とアートが重なり合う、特別な秋の夜となりました。



9/12 SAT 古代蓮の里で救急を学ぼう!

古代蓮の里で、救急医療週間のイベント「古代蓮の里で救急を学ぼう!」が行われました。

このイベントは応急手当の普及啓発と救急車の適正利用の広報を目的に行われたもの。会場では救急救命士による心肺蘇生法やAEDの使用方法の講習の他、消防車や救急車などの緊急車両を間近で見学できる展示も行われ、普段は見ることのできない車両や資機材に、子どもたちをはじめ多くの来場者が興味を示していました。



9/16 WED 北谷横丁

昔ながらの街並みが残る北谷通りで「裏路地ビアガーデン北谷横丁」が開催されました。

通り沿いの空き地や建物前の空いたスペースには地元店舗のキッチンカーやテントが並び、さまざまなグルメやドリンクが提供されました。あいにくの天候でしたが、仕事帰りに立ち寄る方や近所に住む人たちが家族で来訪し、普段の景色とは少し異なる一夜限りの横丁飲み屋街を楽しみながら、地元の味を堪能していました。



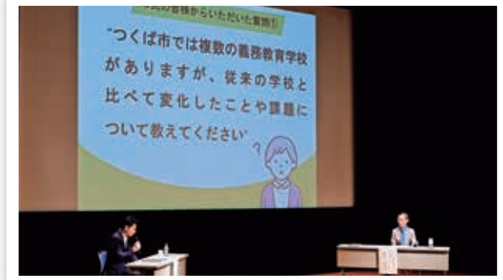


9/12 SAT これからの学校づくりシンポジウム

「みらい」文化ホールで、「これからの学校づくりシンポジウム～先進自治体の取組から考えるこれからの学校づくり～」が開催されました。

シンポジウムでは、茨城県つくば市教育委員会副教育長の柳下英子さんを迎え、つくば市における義務教育学校や小中一貫教育の取り組みが紹介された他、『これからの学校づくりを考える』をテーマにした対談が行われました。

来場者は、つくば市の先進的な事例や対談を通して、行田市のこれからの義務教育学校のイメージを共有していました。



10/3 SAT 行田足袋博覧会 × 花手水特別企画2026 × ヨイチル

10月8日の「足袋の日」にちなみ、市内各所で「行田足袋博覧会(GYODA TABI EXPO)」が開催されました。また、花手水特別企画2026として忍城址などで「日本遺産マルシェin忍城」や「花手水ライトアップイベント希望の光」などが開催された他、ヴェールカフェ横芝生広場ではナイトマーケット「ヨイチル」も同日開催されました。

当日は天候にも恵まれ、歴史文化や美味しいグルメなどを求める人々で賑わいました。夕闇がまちを包み込むと、まちは一転して幻想的な表情に。訪れた人は昼の賑わいから夜の贅沢なひとときまで、行田の魅力を余すところなく堪能した秋の1日となりました。



